

平成30年度第3回定例理事会議事録

日時 平成30年6月22日（金）10：00～
会場 セオダンススタジオ
出席者 下山、手塚、國井、妹尾、樋口、松本、下山順子、市川、江夏、村上
妹尾典子、糸川、倉本、西岡、糸川玉玲、長辻

1、前回議事録確認

2、全ダ連からの連絡

- (1) 6月14日教師試験
 - ・キャンセルが2人あった。
 - ・31年度の教師試験は2月の第1木曜までに申し込む。
- (2) 平成30年度全ダ連定時総会報告 ※別紙
- (3) 明治の「即攻元気」が抽選で7月以降、送られてくる。

3、6月3日ダンスフェスティバル

- (1) 収支報告 ※別紙
- (2) ユニセフへの募金 ￥64,100
- (3) 反省点
 - ①音楽の音出しのタイミングが悪かった。扱いに慣れた人に任せた方が良いのでは？
 - ②プレミアムデモで2列目、3列目のお客さんが出にくく、クレームがあった。
→次回以降、列ごとに誘うようにする。
 - ③女性の控室が少なかった、出演者の景品がなくなった。
 - ④音質がよくなかった。
 - ⑤受付の人手が足りず、担当の先生が忙しかった。
 - ⑥来年の実行委員長を長辻 恵先生に打診。
 - ⑦来年の会場は中央公会堂でどうか？
→承認、抽選に当たったら開催。

4、9月30日ミニパーティー、その他

- (1) 協力してくれる先生がいないので日程変更。
→2月？、人員を確保して細かい日程を決める。
- (2) 予備捺印研修会
日時 11月18日（日）午前
会場 C i t y ダンススクール
講師 市川 登喜雄先生

以上 議事録作成者 糸川 充生

次回理事会は9月28日（金）10：00～ セオダンススタジオ

平成30年度定時総会 報告

日時：平成30年5月2

◆開会の辞 ◆総会成立宣言 ◆会長挨拶 ◆議長選出（小川純氏）に続いて 場所：東京四ツ谷 弘済会館 第

◆第1号議案 平成29年度事業報告承認に関する件

全ダ連は平成23年9月8日、内閣府から公益社団法人の認定を受けた社団法人であり、ダンス教授所の適正化、ダンス教授方法の進歩改善、ダンス教師及びダンス教授所の品位の保持等の活動を行うことにダンスの普及とその技能および知識の向上を図り、もってダンスの健全な発展並びに善良な風俗の保持及びの健全な育成に寄与することを目的とする。

【公益事業報告】

1. 資格認定事業（ダンス教師認定講習・認定試験・昇級試験）

ダンスを正規に教授する能力を有するダンス教師を養成するために「認定講習」を実施した。また、教師の技能及び知識の向上を図るために「昇級試験」を実施した。8地域で合計11回開催。

2. ダンス教授所に対する指導・助言及び認定事業（ダンス教授所及びジュニア育成教室認定委員会）

<認定ダンス教授所数>

年度当初	新規認定数	当年度退会/廃業	当年末認定数
354	4	28	330

<ジュニアダンス普及指導員>

平成29年4月（107名） → 平成30年3月（91名） 16名退会

<ジュニア育成教室認定委員会の活動報告>

平成28年9月より新メンバーで委員会が始動。試行錯誤を繰り返しながら子供の発達段階に応じた指しマニュアルを作成。幼児、小学校低学年・中学年・高学年編、中学校編と5段階に分けた。まずは、基本としてメレンゲ、サルサを取り上げ、種目は、チャチャチャ、サンバ、ワルツ、V.ワルツの6種目に限定。現在、種目ごとに実践例をあげ、わかりやすくする為子供をモデルとした写真入りの手引書作成にとりかいている。平成30年度には完成の見込み。

<土曜学習応援団>

文部科学省で推進している「土曜日教育ボランティア」運動へ参加し、平成29年8月3日に開催された「こども霞ヶ関見学デー」にて、マンボ・ワルツ・チャチャチャの出前事業を行った。

<ジャスラック関係>

ダンス教授所の、音楽著作物使用料を廉価に提供するため、一般社団法人日本音楽著作権協会との団体契約締結しているため、昨年引き続き、全国のダンス教授所に対し団体契約の加入を促進した。

3. 広報啓発事業

- ①2月18日(日)開催の「ダンスフェスティバル2018」のポスター・チケット・パンフレットの作成協力を
- ②発行を予定していた「全ダ連だより第21号」は、今期は見送りとし、次年度早々に上記の「全ダ連創立年記念ダンスフェスティバル2018」を特集としての発行を計画する。

<広報・出版・IT委員会>

- ①ホームページをスッキリと見やすく、細かな情報の提供ができる形式となるようリニューアルした。
- ②メーリングリストについては、理事会・10地域会・各委員会の機能は完成した。
一方、各教師協会については、未登録や変更が多い為、再度全教師協会へアドレス再登録のお願いを行っていただかなければならない。

4. 研修事業

ダンス教師の指導力及び必要な技能の維持向上を図るため、本部ならびに各教師協会の主催による指し会を実施した。

本部主催 3回。 各教師協会主催 合計66回。

5. アマチュアダンス技術検定試験事業

ダンスの普及および技術向上のため、登録された各地域の教師協会にてアマチュアダンス技術検定試験が計16回行われた。(近畿地域：滋賀県ダンス教師協会が2回)

6. ウェルフェアダンス普及事業

公益法人事業として、ダンスを通じ生涯学習や社会福祉に貢献すると共に、ダンスの健全な発展に寄与するため、各地域会を通じて高齢者施設や福祉施設を訪問し、ダンス講習等を実施した。

また、ジュニアを対象にダンス及びダンスエチケットの講習会を開催した。

- ①(会員主催の公益事業) 北海道地域会：2 東北地域会：1 北関東地域会：3 南関東地域会：3
中部地域会：9 近畿地域会：7 四国地域会：1 九州地域会：2

②ウェルフェアダンス指導員資格認定講習

ほぼ毎月第4日曜日の午後1時から5時までの時間帯で、合計15回研究会(自主参加・自費)活動を行い、車椅子ダンス・手話ダンスを中心に研鑽を積んだ。また、イベントには3回参加した。

7. 今期は、新たな出版物の発行は行わず、ソロデモCD・カップルCDの種目の順番を入れ替えた。

8. ANADアマチュア指導員資格試験事業

ダンスの普及、及び地域の活性化に寄与するためにANADアマチュア指導員資格試験を計5回実施した。

また、ANADアマチュア指導員資格取得者の知識向上を図るため、指定研修会を5回実施した。

なお、現在の指導員数は286名、指導員資格審査員数は165名。

9. ダンス普及事業

2月18日(日)開催の「ダンスフェスティバル2018」は東京地域会を中心に、北関東地域会、南関東甲信越地域会をはじめ福岡、山口、大阪、京都、福井、富山、仙台など各地域からの参加もあり、有楽町東宝ダンスホールに入場者数限界の来場者数をお迎えしての開催となった。

「ダンスフェスティバル」の開催は、会員の利益は勿論の事、ダンス技術の向上や会の組織力の強化など多くの利点を生む事業である。

フェスティバルの開催は、今まで資格認定業務を主としてきた全ダ連の活動に新たな分野を創造すると共に、ダンス界に於いて全ダ連の存在をアピールするチャンスでもある。

東京での開催ばかりでなく、各地域会での開催や教師協会連合による開催など、各地域に根付いた方法で是非実現に向け努力をお願いしたい。

10. 諸会議等の開催 理事会：2 臨時総会：1 定時総会：1

11. 会員の入退会 平成29年度は無し。

12. 会員資格の喪失

会費等の支払い義務を履行しなかったため4会員(教師協会)が資格を喪失した。

13. 財務諸表等並びに監査報告書 (別紙)

14. 平成30年度～平成31年度 理事及び監事 (別紙)

15. 平成30年度事業計画並びに収支予算書 (別紙)

16. 全国のダンス教師認定数 17,500人 (詳細は別紙)

17. 全国の会員(教師協会)名簿 *正会員：100教師協会 *賛助会員：8教師協会 詳細は別紙)

18. 地域会事務局一覧 (別紙)

19. 公益社団法人認定十周年にあたり「功績表彰」

三重県教師協会：伊藤信義氏 長野県ダンス教師協会：吉江 保氏 以上2名

2018.6.3 ODTA ダンスフェスティバル収支報告書（西成区民センター）

収入の部

チケット S席	5,500 × 103	¥ 566,500	会場費	西成区民センター	¥ 71,520
チケット A席	4,500 × 99	¥ 445,500	設備費	音響(有線.ワイヤレス).ポーターライト.姿見	¥ 10,350
チケット会員券	3000 × 16	¥ 48,000	司会	木ノ下 由香里さん	¥ 40,000
当日券	5,500 × 1	¥ 5,500	役職手当	役員23人.一般4人	¥ 370,000
賛助出演	35,000 × 8	¥ 280,000	プロシヨール出演料	9組.シングル2人	¥ 427,000
ミックス	2,000 × 42	¥ 84,000	ウエルカムフオーメーション	¥3,000 × 8	¥ 24,000
出店	15,000 × 2+1店舗	¥ 37,500	賛助出演 記念品(VTR.写真)	¥2,000 × 8	¥ 16,000
			賛助出演 記念品(菓子セット)	ソロ6.フオー7+4	¥ 8,726
			プロシヨール衣装.音楽	衣装代.音楽作成費	¥ 12,908
			備品	リボン.ゴミ袋.ボード.バスケット.巻尺.ロープ	¥ 12,113
			弁当	¥756 × 40個	¥ 30,240
			お菓子.お茶	273本(弁当お茶40本含む)・お菓子	¥ 16,742
			印刷代	チケット.プログラム	¥ 19,740
			事務通信費	郵送代.コピー代	¥ 19,439
			打ち上げ	15人(1人¥3,700コース)	¥ 58,000
小計		¥ 1,467,000	小計		¥ 1,136,778
				収益	¥ 330,222

実行委員長 大村 隼
 経理担当 江夏 正美

